

## 21 船津胎内樹型 《富士河口湖町》



## 22 吉田胎内樹型 《富士吉田市》



1617年に長谷川角行が富士登拝した際、北麓に洞穴（船津胎内樹型指定範囲内に点在する小規模な溶岩樹型のひとつと考えられる）を発見し、浅間大神を祀りました。富士講信者によって、1673年には現在の船津胎内樹型が発見され、1892年には新たな「お胎内」として吉田胎内樹型が整備されました。洞内には木花開耶姫命（このはなさくやひめのみこと）が祀られています。※22吉田胎内樹型の内部は一般公開されていません。